

書類交付及び教務ガイダンス

地域共創学部地域づくり学科1年次

本日のガイダンススケジュール

① 書類交付

② アンケート

③ 教務ガイダンス

書類交付

下記の順路に沿って各自配付資料を受け取り座席に着席してください。

机上の配付物

順路

- ① まず机上の配付物を一人一部ずつ取り、座席に座ってください。
- ② 着席の際は、番号札がついている座席に座ってください。
- ③ 着席後、アンケート説明資料を確認し、
アンケートに必ず回答してください。
(アンケートの回答をもって出席とします)

本日のガイダンススケジュール

① 書類交付

② アンケート

③ 教務ガイダンス

アンケート

1年次ガイダンス座席位置確認のお願い

コロナウイルス感染拡大防止のため、座席位置確認にご協力ください。

以下の要領に沿ってアンケートに回答してください。

① QRコードでアンケートサイトに移動する。

A smartphone screen displays a survey form titled "ガイダンス座席位置 確認について" (Guidance Seat Position Confirmation). The form includes a "送信" (Send) button and a text input field for the student ID. A red dashed arrow points from the student ID field on the form to the student ID on the ID card to the right.

ガイダンス座席位置
確認について

匿名で送信します。

* 必須

1. 学籍番号 *

回答を入力してください

送信

このコンテンツはフォームの所有者が作成したものです。
送信したコンテンツはフォームの所有者に送信されます。パスワードを記録しないでください。



本日のガイダンススケジュール

① 書類交付

② アンケート

③ 教務ガイダンス

教務ガイダンス

地域共創学部地域づくり学科1年次



配布資料

◎本日の配布資料

1. 配付書類及び解説
2. 新入生オリエンテーション等日程表
3. 学生便覧
4. 履修ガイド（各学部別）
5. 履修ガイド（K'sLife利用ガイド）
6. 授業時間割表【専門科目・KSU基盤教育科目・外国語科目の3種類】
7. 教職課程について
8. 楽天Edy学生証利用案内
9. 教科書・教材WEB販売チラシ
10. Campus
11. CAMPUS DIARY（学生手帳）
12. CIRCLE GUIDE（学友会誌）
13. 「NHKからの大切なお知らせ」チラシ
14. 「福岡市消費生活センター」チラシ
15. 大学生活を守るための諸注意
16. 定期健康診断日程表
17. 学生教育研究災害傷害保険のしおり
18. キャンパスハラスメント冊子
19. 九州産業大学美術館展覧会スケジュール2021-2022
20. 九州産業大学美術館所蔵品展「face」チラシ
21. 九州産業大学の資格取得講座
22. 広報誌「+K（プラスケー）」
23. 入学直後アンケート
24. キャリア形成基礎論受講のすすめ

封筒の中に、**「配布書類及び解説」（A4縦1枚）**に記載されているものが、すべて入っているか確認してください。

大学とは

卒業するためには

履修登録の仕方（時間割作成）

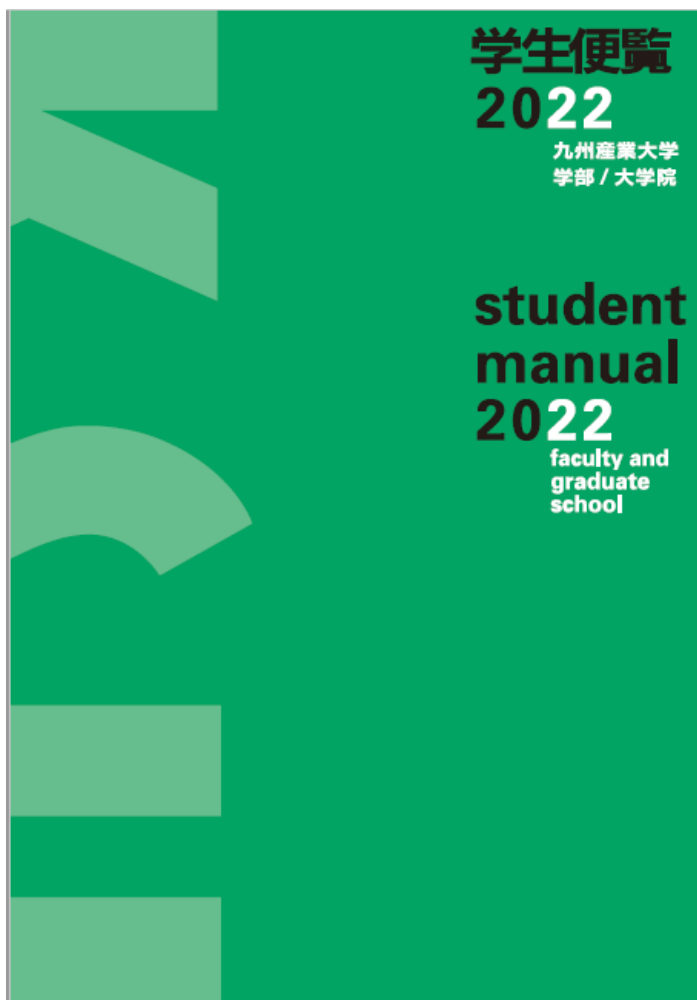
大学生活を過ごす上で

高校と大学の違い

	高校	大学
学期制	3学期制(原則)	2学期制(前学期・後学期)
授業時間	50分	100分
授業時間割 (履修)	指定されている (クラス共通)	自分自身で 選択 する
クラス制及び クラス担任	あり (1クラス10~20人程度)	あり (ゼミナール担当教員)
教室	指定されている (クラス共通)	選択した授業科目によって 異なる (授業科目ごとに指定)
卒業要件	学年制(原則)	単位制 (124単位以上) 各学部の卒業に必要な単位数を修得する

大学生は「自己選択→自己決定→自己責任」

学生便覧



在学中、すべてのルールは
学生便覧に基づいている

学年暦(P.1)

1年間のスケジュール

一般のカレンダーと**異なり**、
休暇期間・祝日授業日等
を掲載

学年暦

前学期

後学期

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
授業開始日	4/8～全14回					9/15～全14回						
補講日	4/9,4/23,5/6,5/14,5/28,6/11,6/25,7/9,7/23					9/24,10/8,10/15,11/12,11/26,12/3,12/17,1/11,1/12						
定期試験				7/25～7/30						1/16～1/21		
祝日授業実施日				7/18		9/19,9/23,11/23						
成績公開日					8/30							3/10
休業開始日				夏季休業 7/31～			冬季休業 12/27～					

K'sLife(ケースライフ)



- ▶ [学生、教員、職員の方はこちら](#)
- ▶ [保護者の方はこちら](#)

個人の履修登録、成績、連絡通知について
閲覧可能なWEBサイト
※毎日確認すること

時間割、その他連絡について 閲覧可能なWEBサイト

教務部ホームページ

授業や時間割など教務に関する情報を掲載していますので皆さん確認をしてください。

トップページ

- 教務課からのお知らせ

教務関係のお知らせを掲載します。

- よくある質問

問い合わせが多い内容を掲載します。

- 利用の手引き

- 学籍関係

- 教務の紹介

etc.....

学部のページ

- 履修・授業・卒業に関すること

履修規程の要点を分かりやすくまとめました。
卒業要件や履修のルールを確認してください。

- 時間割

授業の時間割を掲載しています。
試験前は試験時間割を掲載します。

- 学部からのお知らせ

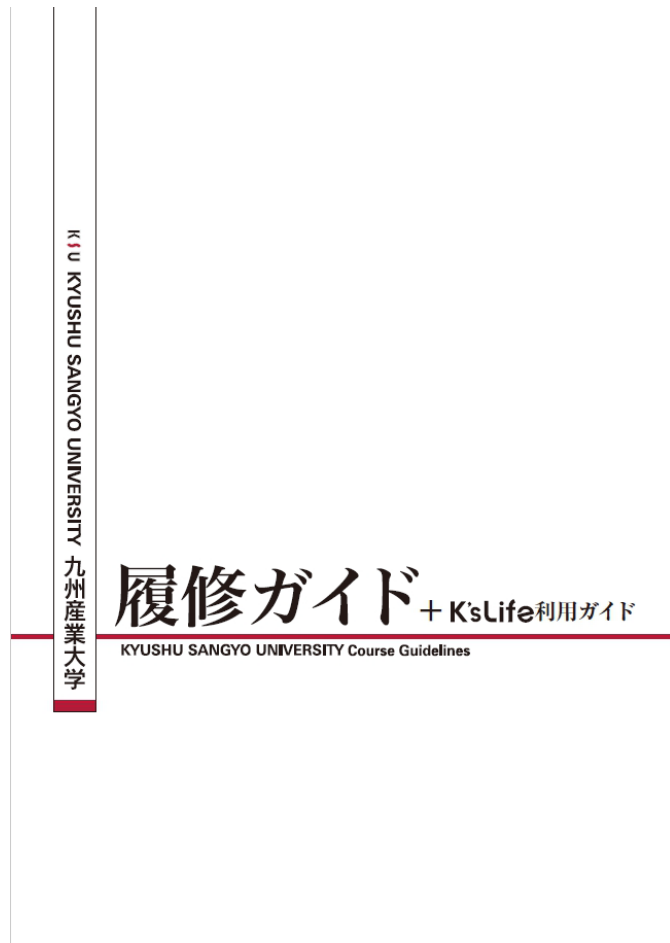
教務関係のお知らせを掲載します。

etc.....

<https://www.kyusan-u.ac.jp/eas/>



履修登録



自分で時間割を作成し、
K'sLifeで授業科目を
WEB登録すること

本年度の履修に関する手引書。
講義受講の注意事項を記載。
必ず一読し、履修登録すること。

シラバス

科目コード	DFG30001		
科目名	九州地域学		
担当教員	千 相哲 木村 俊夫 古賀 彰生 雲俣 優 末松 剛 山下 永子 小池 嘉史 高山 和幸 田代 雅彦 基橋 誠 大方 優子 宮岡 祐司 森下 俊一郎 豊島 茂		
対象学年	1年	クラス	[001]
講義室	N302教室	開講学期	後期
曜日・時限	火4	単位数	2
授業形態		単位数	2
準備事項			
備考			
実務家教員	<input type="checkbox"/>		
A 講義概要/Class Outline	地域を取り巻く環境が大きく変化していく中で、地域住民が地域を見直し、誇りを持ち続けられる社会を実現し、地域社会が自律性・独自性を維持するためには、地域の文化的資源の再認識と価値付けが求められる。この授業では、専門領域の異なる教員が連携し、九州の地域社会、経済、産業、人々の暮らしを総合的に概観しながら、九州の地域課題の本質の基本認識、問題解決に必要な考え方、専門領域横断的分析方法や考察方法について学ぶ。【本授業は対面と遠隔を組み合わせて実施し、対面・遠隔の実施日程は初回の授業で指示します】		
B 講義計画(テーマ及び学習内容)	回	内容	
	1	九州の観光特性と観光ビッグバンについて学ぶ。	
	2	九州地域の地理的特性と主要産業の分布について、他の地域との関係について学ぶ。	
	3	九州地域における芸術文化を通じた地域活性化の取り組みについて学ぶ。	
	4	九州地域における農業について、その特徴を農産物ブランドから学ぶ。	
	5	九州地域における地方自治の現状と課題について学ぶ。	
	6	九州地域における様々な課題について、憲法、行政法、地方自治法について学ぶ。	
	7	公的統計を把握しながら、九州地域の人口構成・移動、住まい、暮らしについて学ぶ。	
	8	九州主要地域の国際戦略・都市マーケティング戦略について学ぶ。	
	9	地域に根ざした歴史史料に着目し、先人の育んできた地域社会・暮らしについて学ぶ。	
	10	アニメ聖地巡礼による九州地域への誘客の可能性について、事例から学ぶ。	
	11	温泉王国九州の魅力とは何か。温泉地域の観光の動向とまちづくりについて学ぶ。	
	12	九州の温泉旅館のおもてなしマネジメントについて学ぶ。	
	13	九州の旅行業界のニュービジネスについて学ぶ。	
	14	九州はひとつの理念と九州観光のブランディングについて学ぶ。	
C 到達目標/Class Goal	九州の地域社会や地域課題について学ぶことにより、学部全体の教育を担う		
D 準備学習の内容(事前・事後学習)	事前学習：教科書の該当部分を事前に読んで講義に臨むこと。(30時間程度) 事後学習：教科書で講義内容を復習し、基礎知識や観光用語を確認すること		
E 評価基準Grading Criteria	地域共創学部授業科目履修規程「成績評価基準」に基づいて評価する。秀で、可(C)60点から69点まで、不可59点以下		
F 評価方法/Grading Method	授業毎の小テストの結果を総合して評価する。		
G 受講上の注意/Class Rules	講義中は私語を慎むこと。また、講義室は座席指定を行う。		
H 受講前提/Prerequisite	本科目は地域共創学部の全員履修科目であるため、受講生数が教席のキャパをオーバーする場合は、地域共創学部の学生の履修を優先する。		
I 関連する科目Related Class	観光関連科目、地域づくり関連科目		

授業科目の内容・学修計画等を記載
K'sLifeで閲覧可能

※シラバスを確認の上で
履修登録すること

出席

入室登録	授業開始 10分前 から 授業開始 (チャイム) まで
退室登録	授業終了 15分前 から 授業終了 10分後 まで

※遠隔授業は別途指示に従うこと

出席の登録は、各教室に設置のICカードリーダーに
学生証をかざす必要がある。

※学生証をかざす**時間帯**には注意すること。

休講・補講

休講：授業担当者のやむを得ない理由で授業が行われないこと。

補講：休講した授業を補うために行う授業。土曜日または平日の6限に実施。

※休講・補講の情報は**K'sLifeで通知**。

大学の学修

1 時間割を作成、WEB履修登録を行う

時間割確定後、教科書を購入

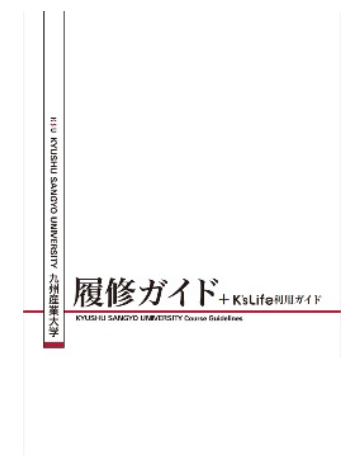
2 授業に出席

休講・補講に気を付けること

3 レポート提出等、定期試験

4 卒業に必要な単位を修得

5 卒業



学生便覧・履修ガイド・
授業時間割表を参照すること

スケジュール

大学とは

卒業するためには

履修登録の仕方（時間割作成）

大学生活を過ごす上で

卒業要件と単位認定方法

「学則」 大学全体に関するルール

- ・ 第15条：卒業要件
別表第10は、P.66に記載。
卒業までに **1 2 4 単位以上** 必要。
- ・ 第18条：単位の認定
授業科目修了の認定は、筆記又は口頭による試験や
その他適当な方法によって行われる。

成績評価は以下表示形式。

秀(S)・優(A)・良(B)・可(C)・不可(D/E)

単位修得

教育課程

基礎教育科目

広く様々な学問を学び
人間力を養う

外国語科目

外国語によるコミュニケーション能力を養う
(英語・初修外国語)
「聞く・話す・読む・書く」

専門科目

特定の分野について
専門的に学ぶ
(学部・学科で異なる)

卒業（124単位以上）

卒業要件

卒業するまでに必要な単位は、**124単位**
ただし、以下の卒業要件を満たさなければならない。

授業科目区分	授 業 科 目 及 び 単 位 数				
専 門 科 目	学部共通科目	必修科目	4単位	さらに 専門科目 から 16単位 以上	さらに 専門科目、 基礎教育科 目及び 外国語科目 から 16単位以上
		選択科目	8単位以上		
	学科共通科目	選択必修科目	10単位以上		
		選択科目	20単位以上		
	コース科目	26単位以上			
基礎教育科目			16単位以上		
外国語科目			8単位以上（英語6単位以上）		
合 計				124単位以上	

卒業要件【必修科目について】

基 礎 専 門	*九州地域学	2	*地域共創論	2
			九州産業論	2



九州地域学、地域共創論の修得が必要。

卒業要件【選択必修・選択科目について】

学 科 共 通 科 目	<input type="checkbox"/> ブレゼминаール	2	<input type="checkbox"/> 地域共創ゼミナール	4	<input type="checkbox"/> 卒業研究ゼミナールⅠ	4	<input type="checkbox"/> 卒業研究ゼミナールⅡ	8	30 単 位 以 上 （ 選 択 必 修 科 目 10 単 位 以 上）
	○地域行政入門	2	△憲法Ⅰ	2	倫理学概論	(2)			
	○地域マネジメント入門	2	△憲法Ⅱ	2	地誌学	(4)			
	○ロジカルライティング入門	2	△地域資源論	2	哲学	(4)			
	○情報リテラシー	2	政治学	2	心理学	(4)			
	△法学概論Ⅰ	2	行政学	2	外国史	(4)			
	△法学概論Ⅱ（国際法を含む）	2	市民活動論	2	社会学特講Ⅰ	(2)			
	△現代情報・メディア論	2	人文地理学	4	社会学特講Ⅱ	(2)			
	福岡の歴史	2	自然地理学	4	日本史学特講Ⅰ	(2)			
	経営学入門	2	日本史	4	日本史学特講Ⅱ	(2)			
	経済学入門	2	社会学Ⅰ	2	地域行政特講Ⅲ	(2)			
	マーケティング入門	2	社会学Ⅱ	2	地域行政特講Ⅳ	(2)			
	インターンシップ入門	2	地域インターンシップ	2					
			国際関係論	2					
			地域行政特講Ⅰ	2					
		地域行政特講Ⅱ	2						

選択必修科目
10単位以上（△及び○）



選択科目
（□及び無印）



合計
30単位以上
の修得が必要。

卒業要件【基礎教育科目・外国語科目について】

〈基礎教育科目・外国語科目〉

年次別授業科目配当表

4年間で履修できる基礎教育科目

と外国語科目が

全て記載されている。

区分	第1年次 授業科目(単位)	第2年次 授業科目(単位)	第3年次 授業科目(単位)	第4年次 授業科目(単位)	卒業要件	
基礎教育科目	科目導入	大学スタディスキル (2)			さらに専門科目、基礎教育科目及び外国語科目から16単位以上(英語6単位以上)	
	学修基礎	実用国語(文章力) (2)	実用国語(伝達力) (2)			
		実用数学(計算力) (2)	実用数学(活用力) (2)			
	キャリア	A1導入 プロダクティング導入 アーティナラシー (2)				
		キャリア形成基礎論 (2)	キャリア開発論 (2)	キャリア形成戦略 (2)		
	文芸芸術融合科目	実践クロス講座 (2)		インタラクティブディスカッション (2)		
		実践クロス演習 (2)				
	コラボ	実践力育成演習 (2)				
		課題解決演習 (2)				
	人文科学科目	実践コラボ講座 (2)				
		実践コラボ演習 (2)				
	社会科学科目	日本の歴史 (2)				
		世界の歴史 (2)				
	自然科学科目	哲学の世界 (2)				
文学の世界 (2)						
心身教育	心理学の世界 (2)					
	文化人類学 (2)					
社会科学研究科目	美術・美術史 (2)					
	芸術の世界 (2)					
社会科学科目	法学 (2)					
	日本国憲法 (2)					
自然科学科目	現代の政治 (2)					
	地理の世界 (2)					
心身教育	人権・平和問題 (2)					
	ジェンダーと社会 (2)					
社会科学科目	社会学の世界 (2)					
	科学の世界 (2)					
心身教育	地球環境 (2)					
	生物の世界 (2)					
心身教育	くらしの中の数学 (2)					
	自然科学の世界 (2)					
心身教育	スポーツ科学演習 (2)					
	心と身体と健康 (2)					
外国語科目	Reading & Writing I (1)	Reading & Writing I (1)	Reading & Writing II (1)	Reading & Writing IV (1)	16単位以上(英語6単位以上)	
	Listening & Speaking I (1)	Listening & Speaking II (1)	Listening & Speaking III (1)	Listening & Speaking IV (1)		
	English Plus (1)					
	English Expressions (2)					
	Four Skills I (2)	TOEIC Plus (2)				
	Four Skills II (2)	Reading Focus (2)				
	Labo Training I (1)	Writing Focus (2)				
	Labo Training II (1)	Business English (2)				
	Domestic Job Training (4)	English Pronunciation (2)				
	Overseas Job Training (4)	Introduction to Translation (2)				
	Global Perspectives (2)					
初修外国語科目	ドイツ語Ⅰ (1)	ドイツ語Ⅱ (1)	ドイツ語Ⅲ (1)	ドイツ語Ⅳ (1)		
	ドイツ語会話Ⅰ (1)	ドイツ語会話Ⅱ (1)	ドイツ語会話Ⅲ (1)	ドイツ語会話Ⅳ (1)		
	フランス語Ⅰ (1)	フランス語Ⅱ (1)	フランス語Ⅲ (1)	フランス語Ⅳ (1)		
	フランス語会話Ⅰ (1)	フランス語会話Ⅱ (1)	フランス語会話Ⅲ (1)	フランス語会話Ⅳ (1)		
	韓国語Ⅰ (1)	韓国語Ⅱ (1)	韓国語Ⅲ (1)	韓国語Ⅳ (1)		
	韓国語会話Ⅰ (1)	韓国語会話Ⅱ (1)	韓国語会話Ⅲ (1)	韓国語会話Ⅳ (1)		
	韓国語Ⅰ (1)	韓国語Ⅱ (1)	韓国語Ⅲ (1)	韓国語Ⅳ (1)		
	中国語Ⅰ (1)	中国語Ⅱ (1)	中国語Ⅲ (1)	中国語Ⅳ (1)		
	中国語会話Ⅰ (1)	中国語会話Ⅱ (1)	中国語会話Ⅲ (1)	中国語会話Ⅳ (1)		
	実用中国語 (1)	上級韓国語 (1)				
アカデミック日本語Ⅰ (1)	アカデミック日本語Ⅱ (1)	アカデミック日本語Ⅲ (1)	アカデミック日本語Ⅳ (1)			
日本語	アカデミック日本語Ⅰ (1)	アカデミック日本語Ⅱ (1)	アカデミック日本語Ⅲ (1)	アカデミック日本語Ⅳ (1)		
	アカデミック日本語Ⅰ (1)	アカデミック日本語Ⅱ (1)	アカデミック日本語Ⅲ (1)	アカデミック日本語Ⅳ (1)		
	アカデミック日本語Ⅰ (1)	アカデミック日本語Ⅱ (1)	アカデミック日本語Ⅲ (1)	アカデミック日本語Ⅳ (1)		
	アカデミック日本語Ⅰ (1)	アカデミック日本語Ⅱ (1)	アカデミック日本語Ⅲ (1)	アカデミック日本語Ⅳ (1)		
	アカデミック日本語Ⅰ (1)	アカデミック日本語Ⅱ (1)	アカデミック日本語Ⅲ (1)	アカデミック日本語Ⅳ (1)		
専攻科目	日本の歴史Ⅰ (2)	日本の歴史Ⅱ (2)	日本の文化Ⅰ (2)	日本の文化Ⅱ (2)		
	日本の政治経済Ⅰ (2)	日本の政治経済Ⅱ (2)	一般日本事情Ⅰ (2)	一般日本事情Ⅱ (2)		

《卒業するまでに必要な単位数》

導入科目

学修基礎科目

キャリア科目

文芸芸術融合科目

教養科目

16単位以上

《卒業するまでに必要な単位数》

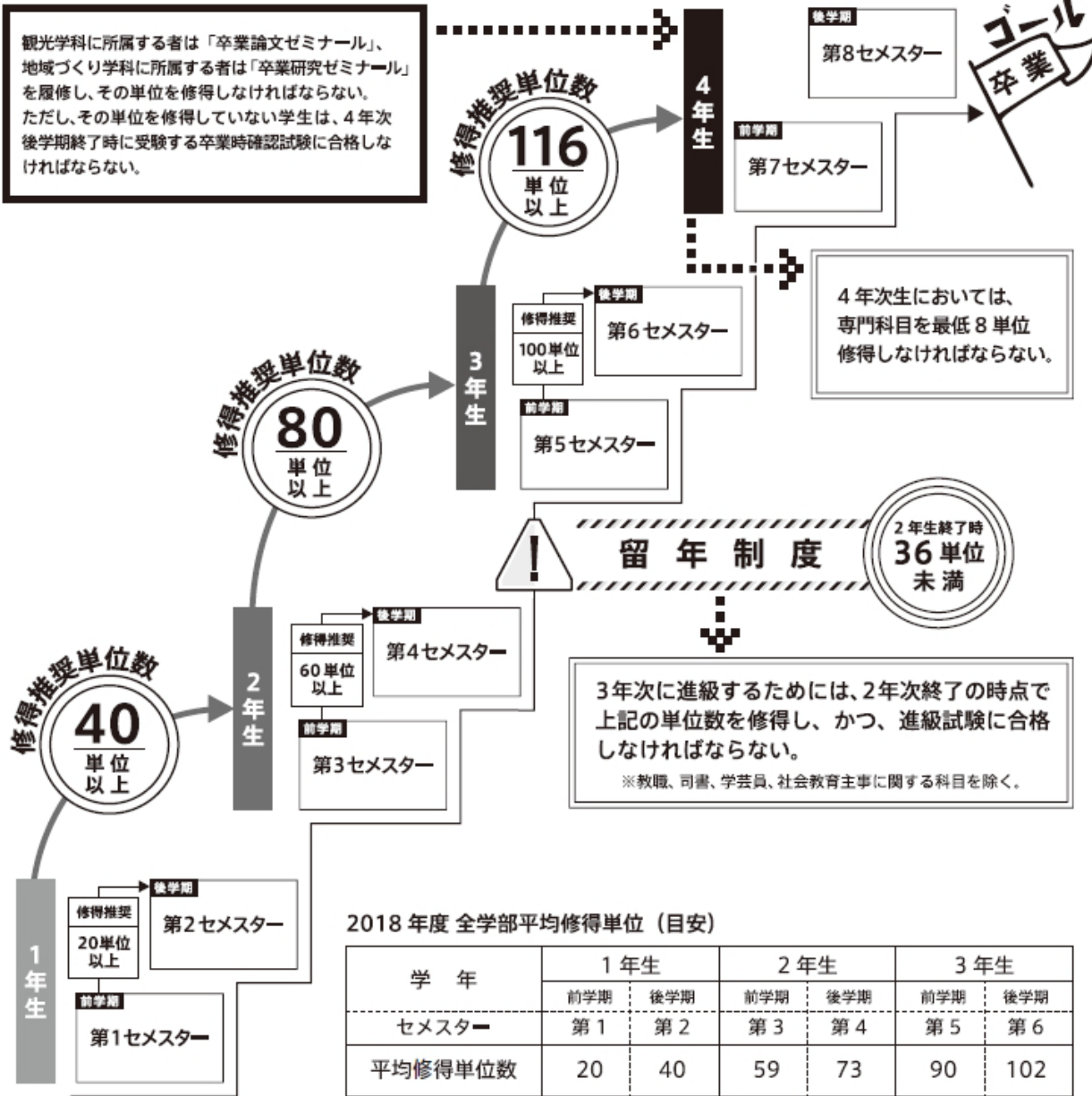
外国語8単位以上

(英語6単位以上)

※「クロス科目」は、各学部の学生が交叉（クロス）して取り組む授業科目を指す。
 ※「コラボ科目」は、各学部の教員が協働（コラボレーション）して実施する授業科目を指す。

卒業要件【修得推奨単位について】

観光学科に所属する者は「卒業論文ゼミナール」、地域づくり学科に所属する者は「卒業研究ゼミナール」を履修し、その単位を修得しなければならない。ただし、その単位を修得していない学生は、4年次後学期終了時に受験する卒業時確認試験に合格しなければならない。



左表を参考に、卒業までの**計画的**な単位修得を心掛けてください。

1年間を2学期制で実施することを「セメスター制」という。
1年間に2セメスター実施。

2018年度 全学部平均修得単位 (目安)

学 年	1 年 生		2 年 生		3 年 生	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
セメスター	第 1	第 2	第 3	第 4	第 5	第 6
平均修得単位数	20	40	59	73	90	102

卒業要件【履修制限について】

地域共創学部履修規程第14条：履修制限

- 1年間で履修できる上限単位数

44単位

- 半期で履修できる上限単位数

28単位

※学期授業期間外に実施する集中講義科目は履修上限には含まれません。

卒業要件【履修制限について】

入学から卒業までの履修制限

① 2、3、4年次担当科目履修要件

② 3年次進級

③ 卒業要件

1年次
入学



2年次

3年次



4年次

卒業



各年次ごとに履修制限があるため、しっかり理解して計画的に履修登録を行ってください。



卒業要件【履修制限について】

《① 2、3、4年次配当科目履修要件》

卒業に必要な単位のうち、第1年次に配当されている授業科目を合計20単位以上を修得していなければ、第2年次以降配当の授業科目を履修することができない。

① 2、3、4年次配当科目履修要件

1年次



2年次



3年次



4年次



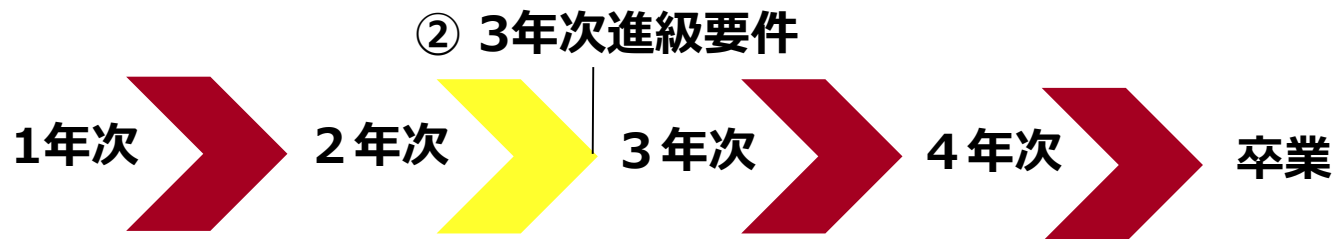
卒業



卒業要件【履修制限について】

《② 3年次進級要件》

1年次及び2年次に配当されている授業科目を36単位以上修得し、かつ、進級試験に合格しなければ、2年次のままとし、3年次に進級することができない。



卒業要件

◀③ 地域共創学部卒業要件▶

卒業するまでに必要な単位は、**124単位**
ただし、下記の卒業要件を満たさなければならない。

授業科目区分	授 業 科 目 及 び 単 位 数				
専 門 科 目	学部共通科目	必修科目	4単位	さらに 専門科目 から 16単位 以上	さらに 専門科目、 基礎教育科 目及び 外国語科目 から 16単位以上
		選択科目	8単位以上		
	学科共通科目	選択必修科目	10単位以上		
		選択科目	20単位以上		
コース科目	26単位以上				
基礎教育科目	16単位以上				
外国語科目	8単位以上（英語6単位以上）				
合 計				124単位以上	

学生便覧 P.111

③ 卒業要件

1年次



2年次



3年次



4年次



卒業

スケジュール

大学とは

卒業するためには

履修登録の仕方（時間割作成）

大学生活を過ごす上で

授業時間割

本日配布している授業時間割表は3種類

① 「専門科目」

② 「KSU基盤教育科目・教職・留学生（日本事情）科目」

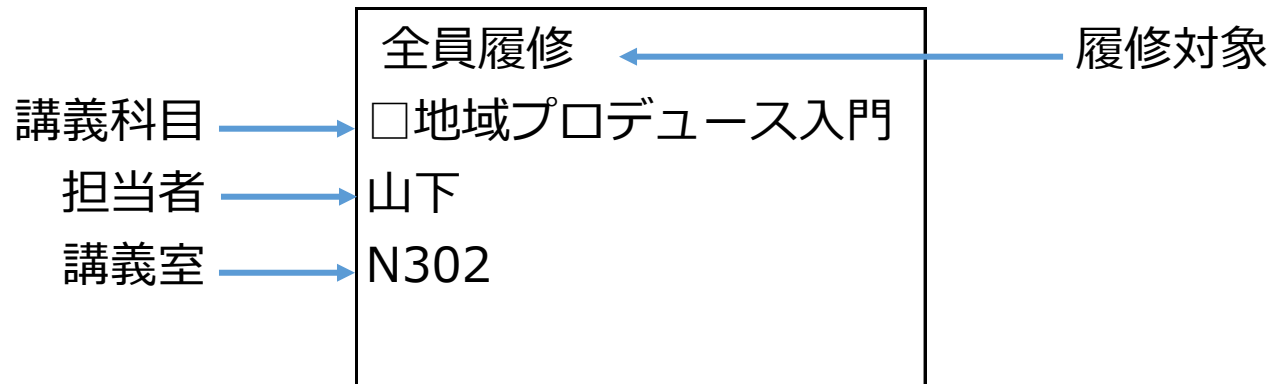
③ 「KSU基盤教育科目（外国語科目・留学生の日本語）」

※ ②と③は全学共通

授業時間割【見方について】

授業時間割には、
期別（前・後学期・通年）・講義科目・担当者・講義室が記載

・時間割表の見方



- * = 必修科目
- △ = 選択必修科目
- = 選択必修科目かつ全員履修科目
- = 選択科目かつ全員履修科目



授業時間割【見方について】

教室の見方

N101	・・・	1号館1階北側	101教室
2E301	・・・	2号館3階東側	301教室
3303	・・・	3号館3階	3303教室
OA1	・・・	1号館6階	OA1教室
42番	・・・	中央会館4階	42番教室
パソソ教室1	・・・	中央会館4階	パソソ教室
パソソ演習室2	・・・	中央会館3階	パソソ演習室

授業時間割を変更する場合

- ①授業追加
- ②受講者数等の理由で教室変更
- ③担当者変更等

※教務部HPに掲載



履修ガイド+K`sLife利用ガイドにも記載されています。

履修ガイドP.6

授業時間割【英語クラスについて】

事前に履修登録されている外国語科目

- 「Reading & Writing I・II」
 - 「Listening & Speaking I・II」
- 英語プレイスメントテスト結果によりクラス分け。

4/7に登録されるため、**K'sLifeを確認**すること。



国語・数学の履修登録について

4月2日(土)に実施した国語・数学プレイスメントテストの結果により、以下の科目が**履修登録されている場合**があります。この場合は**必ず履修し、単位を修得**してください。

国語科目：「実用国語(文章力)」「人文科学の世界」
「実践クロス講座（応用国語）」

数学科目：「実用数学（計算力）」

授業時間割【事前に登録された科目について】

- 1 火・水・金1限は、**英語科目**を履修するため、空けておく。
- 2 その他の**全員履修科目**である以下に記載の科目は、教務課で事前登録をしているため、自分で確認する。
- 3 実用国語（文章力）・人文科学の世界・実践クロス講座（応用国語）・実用数学（計算力）が登録されている学生は、履修する。
- 4 専門・基礎・外国語科目（中国語や韓国語等）を履修する。

※履修登録単位数の上限である**44単位履修**すること。

【全員履修科目】

九州地域学・地域行政入門・地域マネジメント入門・
ロジカルライティング入門・情報リテラシー・
大学スタディスキル・プレゼミナル・スポーツ科学演習

新規科目の紹介【令和4年度からの科目】

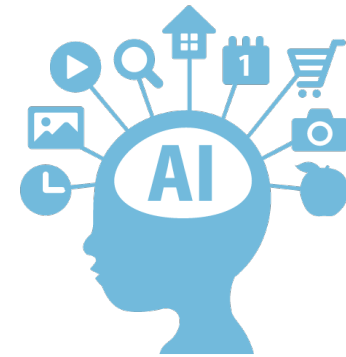
AI導入	AIが社会において与える影響を学び、AIの技術的な仕組みについて学ぶ科目
プログラミング導入	プログラミングに関する基礎知識を深める科目
データリテラシー	高度な数理的分析の前提となるデータの読み方や考え方に関する基本的事項について学ぶ科目
消費者リテラシー	日常生活を送るうえで必ず関わる消費者問題について、その基本概念を学ぶ科目
実践コラボ講座 (ダイバーシティ)	多用な人材 (ダイバーシティ) を採用し、彼らの能力を活かして組織にプラスの効果をもたらす人事戦略を学ぶ科目
実践コラボ演習 (SDGs)	SDGsとの関りが、人類と地球との関係に重要な役割を果たすことを学ぶ科目
実践コラボ演習 (AIと社会)	人間とAIとが協働する社会に適応するための講義・演習を行う科目
くらしの中の数学	社会や暮らしに関連した話題について、数学を用いて考察することを学ぶ科目

皆さんの将来に役に立つ授業となっていますので、
積極的な受講をおすすめします。

AI・データサイエンス副専攻について

AI・データサイエンス副専攻 ～学部横断型の学び～

- ① 社会において必要とされる、AI・データサイエンスに関する**基礎的な教養を修得する。**
- ② 本学に設置する分野から、横断的にAI・データサイエンスに関する**様々な知識・経験を得る。**
- ③ **体系的な学修を通してAI・データサイエンスの考え方を理解し、活用することができる。**



* 興味がある学生は学生便覧P.264をご確認ください。

履修登録【期間について】

●履修登録期間

2022年4月7日(木)10:00～4月9日(土)23:59まで

※**前学期・後学期及び通年科目すべて**上記の期間に履修すること。

●前学期履修変更期間

2022年4月11日(月)10:00～4月14日(木)23:59まで

●後学期履修変更期間

2022年9月8日(木)10:00～9月21日(水)23:59まで

※注意事項

- ①授業内容・教室の規模に応じて履修登録を制限している科目もある。
- ②履修登録期間終了後に履修科目の追加登録はできません。

試験【定期試験・追試験】

前学期定期試験

2022年7月25日(月) ~ 7月30日(土)まで

後学期定期試験

2023年1月16日(月) ~ 1月21日(土)まで

○追試験

病気、その他やむを得ない事由で定期試験を未受験の学生に対して行う。

追試験を申し出ることができる要件は**学生便覧**を確認すること。

スケジュール

大学とは

卒業するためには

履修登録の仕方（時間割作成）

大学生活を過ごす上で

教職資格等

教職・学芸員・社会教育主事・司書等
資格取得が可能

《教職課程》

1年次後学期から履修開始

7月頃教職ガイダンス実施（1年次生対象）

《司書・学芸員・社会教育主事》

1年次前学期から履修開始

資格課程ガイダンス（司書・司書教諭・学芸員・社会教育主事）

希望者は以下時間帯に**必ず出席**すること。

4月7日（木） 17:00～ S201教室

日本学生支援機構奨学金

※高校時に申請を行い「採用候補者」となった学生が対象

地域共創学部地域づくり学科 1年生

日程：4月4日（月）9：30～

場所：1号館1階 N101教室

終了済

※なお、高校時に申請していない方で、日本学生支援機構奨学金の貸与を希望される方につきましては、この説明会ではなく、新規在学採用の説明会を別途開催します。掲示板等で日程・集合時間等を確認のうえ、出席してください。ご不明な点については、1号館3階厚生課にお尋ねください。

教科書購入Webサイト

[日程]Webサイト公開期間

4/1(金)～5/31(火)

[場所]3号館8階教科書受渡所

4/4(月)～4/28(木)

※4/28以降は1号館横の丸善売店で受け渡し

※注意事項

- ・シラバスを確認すること。
- ・購入後の返品ができない場合があるため、履修登録が終了した後に購入すること。



100分授業の導入に応じて、 夏季や春季の休業期間の延長

- ◇夏季：7月31日（日）～9月14日（水）
- ◇春季：1月23日（月）～3月20日（月）



長期休業期間中の学外での活動を推奨

（例：海外研修・留学、ボランティア等の社会貢献活動、
インターンシップ参加など）

出席

[本学学生のデータ分析の結果]

授業全体の出席率が

 **80%以下** になると、

単位修得率が大きく下がることが分かっている。

急な病気等で休まないといけないこともあるため、

普段から授業にはきちんと**出席**すること！

三者面談

- 1 学期途中で出席率が低い学生については、保護者の方へ文書を送付。
- 2 連続して対象となった学生については、**警告文書、退学勧告文書**を送付。
- 3 学期末に出席率.GPA.修得単位数が低い学生については、三者面談。
- 4 改善が見られない場合については、学則に基づく**懲戒（訓告、退学処分）**を行うことがある。



対象にならないように、授業には**必ず出席**すること！

本日以降スケジュール

《4月4日（月）》

11:00~12:00 大学スタディスキル N203教室

12:00~13:00 WEB履修登録説明会

1号館6階 OA教室1, 2

※学生便覧・履修ガイド・授業時間割表を**必ず持参**すること

《4月6日（水）》

9:00~ 学科オリエンテーション・

歌劇ザ・レビューシアターでの観劇（学外）

N203教室集合

《4月7日（木）》

10:00~ 履修登録開始

《4月8日（金）》

授業開始日

※詳細は、新入生オリエンテーション等日程表を確認

教務課からのお願い

1. **電話**に出てください

「092-673-5593」は地域共創学部担当からの大事な連絡です。
必ず電話に出るか、折り返しの連絡をしてください。

2. 学籍情報を**更新**してください

メールアドレス・電話番号が変わったら必ず更新してください。
住所変更等、K's Lifeで更新できない項目が変わったら、必ず教務課に届出を
してください。

3. わかないことは何でも**相談**してください

分からないことがあったら、まずは自分で調べてみてください。
調べても分からなければ、すぐ聞く、連絡する、相談するなどしてください。

コロナウイルス感染症の影響に伴う本学の対応

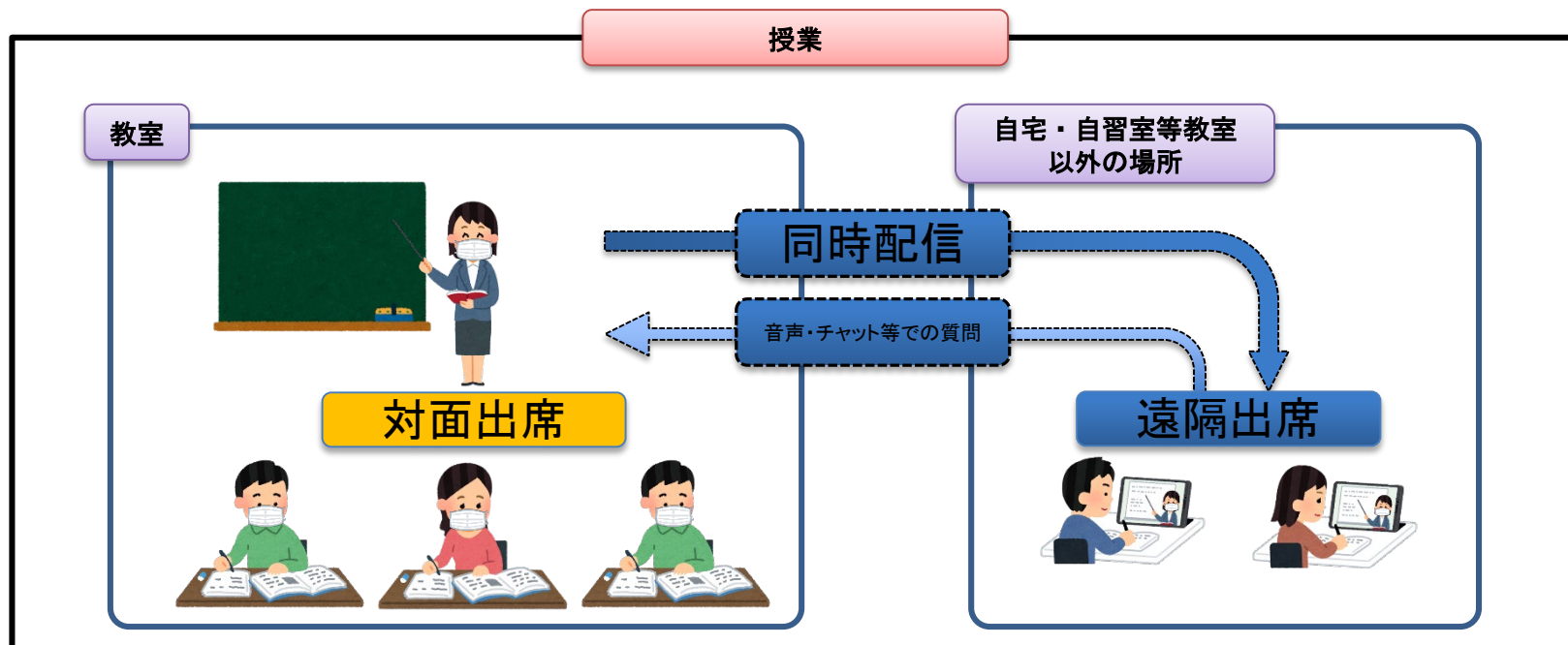
K`s LifeやHPで随時情報を更新していますので、
必ず確認するようにしてください。
大学への出校等に関わる本学の方針に従い、
各自、自己防衛に努めてください。

授業の実施方法【基本】

レベル1～2における「対面授業と遠隔授業を併用して授業を実施」の方法は、ハイフレックス型とします。

ハイフレックス型とは、教員は原則としてZoomを使って教室で授業を行い、学生の皆さんは対面出席、遠隔出席のいずれかの方法で授業に参加する方法を指します。

【ハイフレックス型のイメージ】

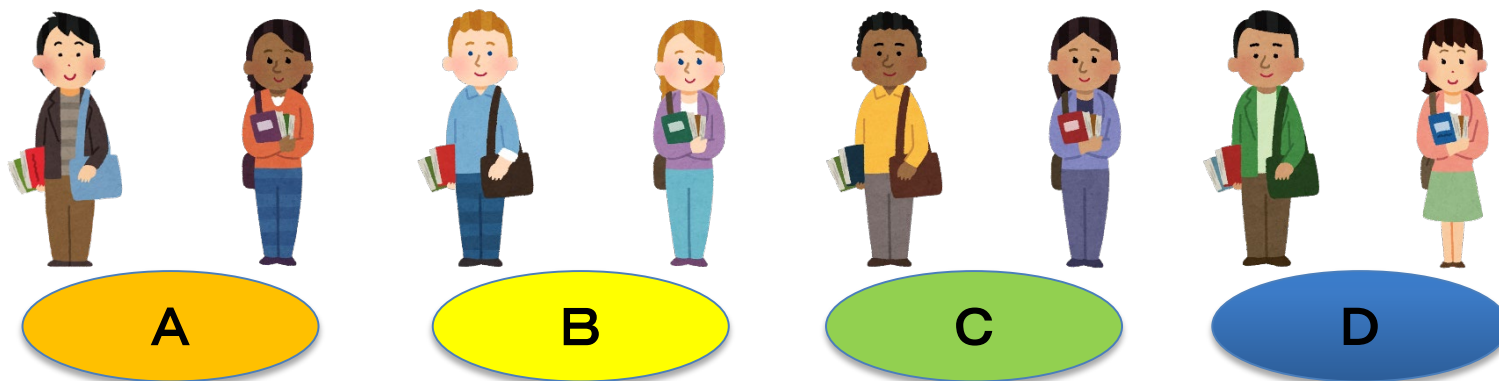


対面出席・遠隔出席の調整方法①

・ ~グループ分け~

学生の皆さんの受講環境(対面出席と遠隔出席が同日に重ならない)に配慮し、**感染拡大防止と、学修機会の確保を両立させるため**、大学として統一して、以下の方法で出席率の調整を行います。

- ①全学生をA/B/C/Dの4グループに分けます。
一度、指定されたグループは、基本的に変更しません。



学籍番号の下3ケタを4で割った余りの整数でグループを分けます。
余り1=「A」 余り2=「B」 余り3=「C」 余り4=「D」

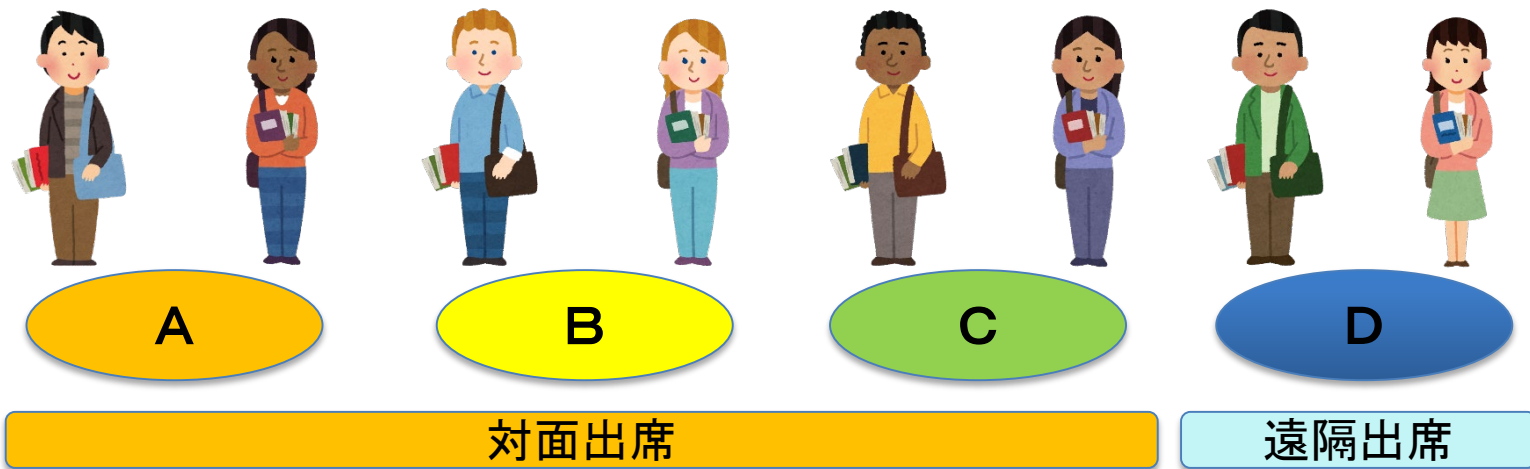
※授業開始前に必ず自分のグループを把握しておいてください。

対面出席・遠隔出席の調整方法②

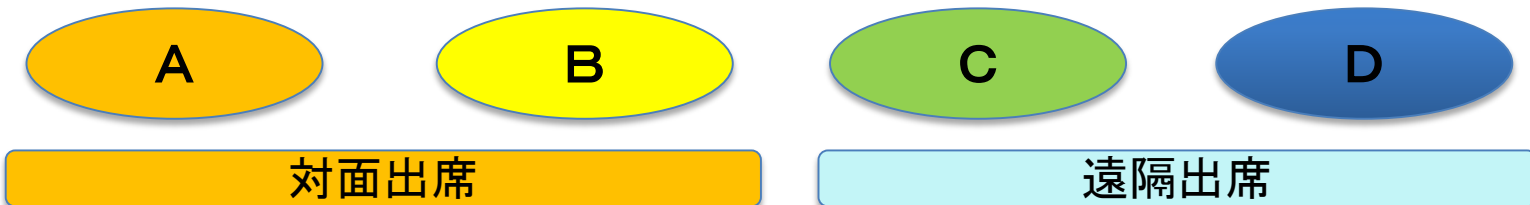
- ～グループ分け～

②レベルに応じて、対面出席のグループを指定します。

【3グループを対面出席とする場合】



【2グループを対面出席とする場合】



対面出席・遠隔出席の調整方法③

③実際の出講日については、学年暦のカレンダーを用いて、下記のように対面出席するグループを指定します。指定は学期単位で行いますが、授業期間途中でレベルが変更になった場合は、対面出席グループを再指定し、改めて周知します。

【例：3グループを対面出席とする場合】

4 月						
日	月	火	水	木	金	土
3	4	5	6	7	8 授業開始 BCD ①	9 ABCD ①②
10	11 CDA ①	12 DAB ①	13 ABC ①	14 BCD ①	15 CDA ②	16
17	18 DAB ②	19 ABC ②	20 BCD ②	21 CDA ②	22 DAB ③	23 ABCD ③④
24	25 ABC ③	26 BCD ③	27 CDA ③	28 DAB ③	29 昭和の日	30

※出席グループは、K'sLifeの通知及び大学HPで確認してください。

学部学科、授業科目の特性に応じた対応

学部学科、授業科目により、実験実習、演習、ゼミナール科目等については、教育効果を考慮し、遠隔グループであっても、対面での出席を求められることがあります。

その際は、授業科目担当者等の指示に従ってください。

- ・ 遠隔グループであっても、対面での出席を希望する場合は、授業科目担当者に申し出てください。
- ・ 体調不良等の場合は出校しないでください。対面出席のグループの場合は、授業科目担当者に相談してください。

